

第1回教育文化センター利活用検討ワークショップ

第1回は、「氷見市の課題を知り、『教育文化センターの目指す姿・役割』、『どんな場所であってほしいか』を考える」をテーマにワークショップを行いました。

32名が5グループに分かれ、どんな使い方をしたいのか等、様々な世代の多角的視点から活発に意見交換が行われました。

今回出された意見は、次回のどのような機能が必要となるかを考えるベースとなります。

日 時 : 令和8年7月5日(日)14:00~16:00

会 場 : 教育文化センター4Fホール

参加者 : 公募24名(内 高校生 8名、子育て世代 4名、地区代表 7名)
施設関係職員8名

アドバイザー: 富山大学芸術文化学部学術研究部芸術文化系
講師 藪谷 祐介 氏

運 営 : 氷見市教育委員会事務局文化振興課
株式会社アール・エ北陸

全体で見えてきたキーワード

ワークショップで出た意見を全グループ共通で見ると、
次のようなニーズが多いことが分かった。

営業時間・滞在時間

- ・朝早くから夜遅くまで使える図書館やフリースペース(例:モーニング、夜9～10時までの開館など)。
- ・2～3時間／一日中でも滞在できる場所、放課後やバス待ち時間に立ち寄れる場所。

交流・居場所機能

- ・多世代・世代間交流、誰でも来られる・目的がなくても来られる「居場所」。
- ・友達とお茶、ゆっくりくつろげる、静かに過ごせる・ゆったりできる、といった「滞在の質」に関する要望。

学び・生涯学習

- ・勉強スペース、自習室、仕事スペース、夜まで集中して勉強したいという声。
- ・趣味・カルチャー教室(パン教室、そば打ち、書道、日本画など)や大人の学びの時間、生涯学習機能への期待。

氷見らしさ・歴史文化

- ・氷見の歴史が分かる、氷見の偉人紹介、祭・伝統文化紹介、「氷見の『知』を集める場所」など、ローカルコンテンツへの強い関心。
- ・観光客が氷見全体を知る最初のスポット、市民が誇れる場所、といった「ゲートウェイ／誇りの拠点」イメージ。

防災・避難機能

避難所・防災機能として使える、安心して集まれる場所、といった安全拠点としての期待。

子育て・バリアフリー

- ・授乳室、子ども用トイレ、男性のおむつ替えスペース、ベビーカー・車椅子対応など、子育て世代・高齢者に優しい設備。
- ・赤ちゃん連れで来やすい、子どもが騒いでも大丈夫、パパも来やすい雰囲気等、心理的バリアフリーも含めた要望。

カフェ・飲食・リフレッシュ

- ・カフェ、軽食が買える売店、気軽な飲食スペース、街歩きの休憩の場としてのニーズ。
- ・テラス、芝生、ベンチ、木陰・風が通る屋外スペースなど、屋外も含めた快適性へのこだわり。

市民からのニーズを再整理すると以下の通りとなる

1. 氷見の知と文化を集める「**学びの拠点**」
2. いつでも誰でも立ち寄れる「**多世代の居場所**」
3. 子育て・防災に配慮した「**安心安全なコミュニティ拠点**」
4. まち歩き・観光の「**玄関・休憩拠点**」

グループ別に整理した各グループの特徴

グループA

図書館・歴史・
日常利用

- ・図書館機能への要望が多く、4階勉強スペース・3階子どもスペース・授乳室など、既存機能の強化・活用をイメージ。
- ・「氷見全体の歴史が分かる施設」「氷見の偉人を知る＋交流」「氷見の『知』を集める場所」など、知的なコンテンツ・歴史文化への関心が強い。
- ・避難所機能やバリアフリーにも言及があり、「日常も非常時も頼れる公共拠点」としての姿を描いている。

グループB

遊び・娯楽・
学生ニーズ

- ・「高岡みたいに遊べる場所」「ラウンドワン」「ゲームセンターやカラオケ」など、娯楽・エンタメ要素へのニーズが目立つ。
- ・一方で、「受験勉強・テスト勉強がしたい」「自習室だけでも開放してほしい」など、学生の勉強場所としての機能も重視している。
- ・放課後や帰りのバス待ち時間など、時間の隙間に立ち寄れる立地・営業時間の重要性を指摘している。

グループC

大人の学び・
カフェ・防災

- ・「時間の長い図書館」「朝早くから夜遅くまで」「ホテルロビーのような1階」など、落ち着いた滞在空間・カフェ的な利用のイメージが強い。
- ・大人用教室、防災機能、芝生スペースや快適なトイレなど、「大人の学びと日常の快適さ」を両立させたいという声が多い。
- ・「朝活」「パン教室・そば打ち教室」「ひみのわのような活動」など、コミュニティ活動の場としての想定も見られる。

グループD

眺望・カフェ・
コミュニティ・歴史

- ・「富山湾を眺められるカフェ」「街・海を眺める場所」「リラックスできる場所」など、景観とリラックスを重視する意見が特徴。
- ・「氷見市の歴史が学べる場」「氷見出身の偉人紹介」「祭・伝統文化紹介」など、歴史・文化の展示・学びに関する意見も多い。
- ・コミュニティスペース、レンタルスペース、ミーティングルーム、コワーキングスペースなど、市民が使える活動拠点としての機能を重視している。

グループE

子育て・休憩・
多世代交流

- ・赤ちゃん連れ・子ども・高齢者・車椅子など、多様な利用者を想定したバリアフリー・子育てフレンドリーな要望が非常に多い。
- ・「街歩きの休憩」「バス待ちの一息」「日影・ベンチ・風が通る」「軽食や飲み物を買える」など、日常の休憩拠点としての具体的なイメージが豊富。
- ・「子どもの思い出の場所になってほしい」「氷見を好きでいてほしい」など、情緒的・象徴的な拠点としての期待が強く出ている。

機能別・ターゲット別ニーズ整理

機能カテゴリ	主なニーズ・キーワード	想定ターゲット
学び・知	図書館の長時間開館、勉強スペース、自習室、仕事のできるスペース、大人の学びの時間、生涯学習、趣味教室(パン・そば・書道・日本画)、氷見の歴史・偉人・文化を学べる場、氷見の「知」を集める場所	児童・生徒、学生、社会人、大人、高齢者、観光客
交流・居場所	多世代交流、世代を超えた交流、誰でも来られる居場所、目的がなくても来られる場所、友達とお茶、ゆったり・一人でゆっくり、コミュニティスペース、ミーティングルーム、コワーキングスペース	子ども～高齢者、市民、地域の人同士、外からの来訪者
子育て・家族	授乳室、おむつ替えスペース(男性も)、子ども用トイレ、赤ちゃん連れでも来やすい、子どもが騒いでも大丈夫、パパも来やすい・パパ向けイベント、子どもの遊び場、家族で気兼ねなく過ごせる場、子どもの思い出の場所	乳幼児・保護者、子育て世代、家族連れ
防災・安心	避難所機能、防災機能を持ったつくり、災害時に安心して集まれる場、安全に人が集まりやすい場、バリアフリー、安心できる場所	市民全般、災害弱者、子育て世帯、高齢者
カフェ・飲食・滞在	カフェ(スタバ・タリーズイメージ)、お茶とランチ、軽食・飲み物の売店、飲食できて一日中いられる、モーニング、気軽に飲食できるスペース、街歩きの休憩、一息つけるベンチ・テーブル	学生、社会人、観光客、買い物・街歩きの市民
遊び・余暇	ゲームコーナーやカラオケ、ラウンドワンのような遊び場、友達と楽しく遊べる場所、映画上映、イベントスペース、子どものイベントの場	子ども・若者、ファミリー
時間・営業時間	朝活ができる、朝早くから使える、夜9～10時まで開いてほしい、放課後・バス待ち時間に寄れる、2～3時間・一日中滞在できる	学生、社会人、子育て世代、高齢者
空間・環境	眺望(富山湾、街・海)、テラス、芝生、ソファ、快適な空調、現代的なトイレ、バリアフリー、日陰・ベンチ・風が通るスペース、明るく開放的な雰囲気、静かに過ごせる場所	利用者全般、特に長時間滞在者

※この分類は、ワークショップで出た意見を機能軸とターゲット軸で整理したものである。

ワークショップ結果を踏まえて、施設全体のコンセプトを4本立てとして検討

- 氷見の歴史・文化・知を学び、伝える「**教育・文化拠点**」
- 誰もが日常的に立ち寄り、長く滞在できる「**多世代の居場所**」
- 子育て・防災・バリアフリーに配慮した「**安心安全の地域拠点**」
- まち歩き・観光のハブとなる「**氷見の玄関・交流拠点**」

この4本をもとに、コンセプトフレーズ案を作成する。